様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 レタス（冬どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

１．土づくり

・完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

２．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量12kg／10a以下**

	肥料名	施肥量
基肥	①ちばみどり有機888（8－8－8 有機態窒素 1.2） 又は	160kg/10a以下
	②エコレット866（8-6-6 有機態窒素 4.1）	300kg/10a以下
	苦土石灰	60kg/10a

３．防除 **化学合成農薬　9成分回数まで**（苗購入の場合7成分回数まで）

（Zボルドー・ジーファイン水和剤・エスマルクDF・ゼンターリ顆粒水和剤・スピノエース顆粒水和剤・カスミンボルドーは化学合成農薬に含めない）

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
9月上旬	は種	（ハスモンヨトウ・オオタバコガ）（菌核病）（アブラムシ）					害虫防除の為、育苗床は寒冷紗で被覆をする
中旬							アブラムシ防除の為、圃場周辺の雑草を除去する
下旬	定植						
10月上旬			Zボルドー又は	500～800倍	—	腐敗病	
			ジーファイン水和剤	1000倍（収穫前日）	—		
中旬							
下旬							ハスモンヨトウは若齢期の内に防除を実施する
11月上旬	トンネル被覆		①アファーム乳剤	1000～2000倍（収穫3日前）	3回	ハスモンヨトウ オオタバコガ	
			②フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍（収穫前日）	2回		
			③プレバソンフロアブル5	2000倍（収穫前日まで）	3回	ヨトウムシ	
			エスマルクDF	1000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	—	ヨトウムシ オオタバコガ	
			ゼンターリ顆粒水和剤	1000～2000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	—	ヨトウムシ	
				1000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	—	オオタバコガ	
中旬			④カンタスドライフロアブル	1000～1500倍（収穫7日前）	2回	菌核病	トンネル被覆前に防除を実施する
下旬			⑤コルト顆粒水和剤	3000～4000倍（収穫前日）	3回	アブラムシ類	
			⑥ダントツ水溶剤	2000～4000倍（収穫前日）	2回	アブラムシ類	
				2000倍（収穫前日）		アザミウマ類 ナモグリバエ	
			⑦ウララDF又は	2000倍（収穫前日）	2回	アブラムシ類	
12月上旬	収穫↓		モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍（収穫前日）	3回	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	
中旬			カスミンボルドー	1000倍（収穫7日前）	4回	腐敗病	
			⑧ファンタジスタ顆粒水和剤	2000～3000倍（収穫3日前）	3回	菌核病 灰色かび病	オオタバコガの発生が多い場合は、スピノエース顆粒水和剤2500倍～5000倍（収穫3日前・3回）を散布する
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準